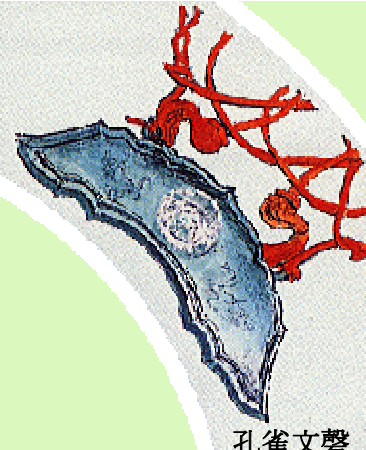


2010-11年度  
RIテーマ  
「地域を育み、  
大陸をつなぐ」



# 週報宇佐



孔雀文馨



陵王面



RI会長  
レイ・クリングスミス



第2720地区ガバナー  
木下 光 一



宇佐ロータリークラブ会長  
津々良 洋 一

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19  
トキハインダストリー長洲店 2F  
TEL (0978) 38-1112

会 長 津々良 洋 一  
幹 事 幡 手 一 義  
編 集 本 庄 伸 子

## 11月はロータリー財団月間

### \*本日のプログラム\* (11月4日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 外部卓話 ファム・レ・ホン・フクさん  
(APU留学生・ベトナム)
6. 出席報告

### \*11月の行事予定\*

- 4日 外部卓話 ファム・レ・ホン・フクさん  
(APU留学生・ベトナム)
- 12日 四クラブ合同ソフトボール大会  
及び親睦例会
- 18日 内部卓話 辛島光司会員
- 25日 内部卓話 是永潤一会員

## 第2130回例会 平成22年10月28日 の記録

- 🔄 点 鐘
- 🔄 ソング それでこそロータリー
- 🔄 ゲスト なし
- 🔄 ビジター 弓長永輝君 (豊後高田RC)

### 会長の時間 津々良洋一会長

かなり肌寒さを感じる日々となって参りましたが、お陰をもち今日で10月例会も最後となります。

今日の会長に時間は、先日土曜日に地区職業奉仕セミナーが大分であり、臼杵職業奉仕委員長と出席して参りましたので、その報告を少しさせていただきます。

木下ガバナーの鳴り物入りで、素晴らしい講演が聴けると言うことで、年度早々より、是非とも出席して欲しいとの呼びかけがあっていたわけで

すが、基調講演をして戴いたのはRI2680地区のバストガバナー安平和彦氏で、京都大学卒の民事弁護士ロータリー経歴もRI会長代理等数々こなされている方で、演題は「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」副題「経営哲学としてのロータリー」と、いかにも、眠たくなりそうな題目でしたが、大学講堂のプロジェクター使用による、ほの暗い照明と、朝の桜並木の草刈りにより、始まる前から、これはやばいなと思ってお

**USA-OITA**

第2720地区 **宇佐ロータリークラブ**

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市大字江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内  
TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

りましたが、案の定、始まって二・三分もしないうちに、頭を垂れてしまいましたが、これではいけないと、睡魔と戦い、所々記憶が飛びながらも聞いてまいりました。

全般的に職業倫理とロータリー倫理に関する位置付けについて、話があったようなのですが、後で冊子を読み返すと実に理論的にまとめられており、これを読めば職業奉仕が良く判るのではないかと思いますので、良ければコピーをし、勉強会で使用したら良いのではないのでしょうか。

話の中で記憶に残るのは、例会時唱和しています「四つテスト」は、1954年ハーバート・テイラー氏によりR I 会長就任時提唱されたのですが、それ以前は11項目によるロータリー倫理訓（R道徳律）が1915年から採用されていたとのことで、これがあまりにも文章的に長い為、これを端的に表現した四つテストが採用されたとのことです。

（倒産寸前のアルミ食器会社が実践したスローガンで再建した有名な話）

もう一つ、安平パストガバナーが冗談で、「ロータリーはあちらの世界と一緒に、抜けようとしてもなかなか抜けさせてもらえない世界です」といわれたことですが、なるほどなと思ってしまいました。

終わりの話として、言われたことも印象に残っていますので、ご紹介いたします。

＝縁あってロータリーの世界に入った一生もののロータリーですので、昼飯会ではさびしい、感性的親睦でもさびしい、知ることの楽しさ、自ら学ぶことの楽しさ、そして何よりも「ロータリー哲学」＝利己と利他の調和の哲学＝、を实践することは、必ずや他人を助け、やがては巡りめぐって自らの人生を明るく照らし、いずれは自己の職業を隆々と栄えさせるのだという確信と、ロータリーアンとしての誇りを待って、ロータリー人生を楽しみましょう。＝

<b>幹事報告</b>	幡手一義幹事
-------------	--------

### 1. 来信

1)ロータリーの友 2010年11月号；配布

2)木下光一ガバナーより「ガバナーノミニー選出について」

；岡村泰岳氏（大分中央RC）

### 2. 例会変更 なし

### 3. 週報受理

宇佐八幡RC、宇佐2001RC、中津RC  
中津平成RC、別府RC、別府中央RC  
別府東RC

### 4. 理事会報告

1)11月のプログラムについて

4日 外部卓話 APU留学生

12日(金) ※11日の例会を変更

・4クラブ合同ソフトボール大会

13:00～ 宇佐市総合運動場

・4クラブ合同親睦例会

18:30～ リバーサイドホテル宇佐

18日 内部卓話 辛島光司会員

25日 内部卓話 是永潤一会員

2)ロータリー財団寄付について

今年度も年次寄付1人1000ドル以上の御協力よろしくお願い致します。

（11月のロータリーレートは1ドル82円）

### 5. お知らせ

1)出欠の回覧を致します。

①4クラブ合同ソフトボール・親睦例会

②6クラブ合同チャリティーゴルフ

③ロータリー情報勉強会・辛島会員歓迎会

### 6. 欠席連絡

山上明宣会員、和田久継会員

### 7. 本日の当番

新開洋一会員、末宗為十会員

<b>委員会報告</b>
--------------

◎親睦活動委員会

藤本博和委員長

11月5日（金）辛島さん歓迎会と勉強会を18:30より「ちよせ」で行います。広瀬先生の勉強会のあとに親睦会を行います。多数の参加をお願いします。会費は4000円です。親睦委員会は行事がありますので例会終了後に残って話をします。モリアルタ、チャリティーゴルフ、ソフトボール大会、

年末の最終例会、新年例会などについて話し合います。

◎ロータリー財団委員会 藤林鋭司委員長  
先ほど幹事からもお話がありましたが、今年も例年どおり100ドルをお願いしたいと思います。  
ご承認よろしくお祈りします。

**スマイルカード** 藤本博和委員長

津々良洋一会長：遅刻しました。末宗副会長お手数お掛けしました。

幡手一義幹事：次女、三女の夫になった人と2人で飲みに行きました。

廣瀬辰彦会員：本日ロータリー情報の卓話をさせて頂きます。

佐藤憲三郎会員：うれしいことに例会で小野田さんの顔をみる事ができました。広瀬先生卓話ありがとうございます。

是永潤一会員：廣瀬会員、卓話よろしくお祈りします。

河村正一会員：先日藤林、藤本、末宗会員にゴルフでお世話になりました。

末宗為十会員：藤林会員、河村会員、藤本会員先日は楽しい時間をありがとうございました。

藤林鋭司会員：末宗会員、河村会員、藤本会員に大変お世話になりました。職業奉仕の為早退いたします。広瀬先生卓話が聞けずに申し訳ありません！

藤本博和会員：藤林さん、河村さん、末宗さん大変お世話になりました。広瀬先生卓話よろしくお祈りします。

石部幸二会員：先日初ゴルフに行き、大変楽しかったです。藤林会員、末宗会員大変お世話になりました。

本庄伸子会員：2年近く腰痛に悩んでいます。最近NHKで「正しい立ち方」を見てやっています。意外にも効果があります。

岩井謙次会員：職業奉仕の為早退します。広瀬先生申し訳ありません。

**内部卓話**

「ロータリー情報」

廣瀬辰彦ロータリー情報委員長

久しぶりにこの THIS ROTARIAN AGEという本を皆さんと一緒に勉強させていただきます。まず、この本をこのように立派に製本していただいた末宗さんにお礼を申し上げたいと思います。



それでは、25Pを開いてください。宗教自由の揺籃、赤ちゃんを入れるゆりかご、物事の初期段階という意味です。この、3章や2章の夜明け前、という部分はロータリーを語るときにあまり意味が無いのではないかと指摘をする人がいますが、それに対して、この本の創設者、ポール・パーシー・ハリスは、30Pの中ほどに、「前に述べたようにロータリーがいかにも興隆したかを語る事が著者の目的であったのでロータリーの精神の理解を進めるため、ロータリーの誕生を可能ならしめた20世紀の当初におけるアメリカの精神状態を洞察するために必要と思われる歴史的事態をここに検討した次第である」というふうのべています。25Pでは「今日の米国に求め得られる最も尊ぶべき時代精神は、その国民一般に適用されている宗教の自由と政治の自由とである。」というところです。そして終わりのほうに、「彼らの信仰は極めて頑強であって、そのために彼らの認める規範に合わせないものはすべて神を瀆すものとするのであった。」ということです。27Pの終わりから28Pにかけて、「しかしニューイングランドと「宗教自由の揺籃」の名を争うものにメリーランドがある。1649年に同州政府が制定した宗教法にいう。宗教上の新庄を社会に強制することは往々その社会に危険な結果をもたらすものと認められるがゆえに、今後宗教は何人をも拘束してはならないことをここに規定する。ただし聖なる三位一体を否定する者は何人たるを問わず死刑に処するものとする。メリーランドの祖先が定

☺ニコニコ累計 200,000円

めた三位一体の教義の背反者に対する死刑と、ニューイングランド開拓者の社会に存した厳格なピューリタン教義の背反者に課す足枷、笞刑台、火刑柱などの刑罰との間にはほとんど等差を認めないのではあるまいか。」ということで、三位一体という言葉が出てきました。小泉政権の時に、税制改革で補助金削除・税源の移譲・地方交付税は一体的に改革されるべきだということで、テレビや新聞などで三位一体という言葉がよく出てきました。それで、読み方が「さんい」でなく「さんみ」であることの意味や語源を辞書で調べたりしましたが、今回この本を調べていましたらキリスト教からの語源であるということが分かりました。父（天）と子（キリスト）と精霊は一体であるということです。この3つの神は本質的に一緒であるということで、キリストから「三位一体」という言葉が出てきました。そして、この本を翻訳したのは昭和11年です。米山梅吉氏によって翻訳されましたが、昭和11年からこの三位一体という言葉は使われていました。

P28には「自由主義の文学者や思想家を生み、宗教方面においても偉人の名を挙げることができる。このようにきら星の如く輩出した偉人は、ニューイングランドを導いて頑冥固陋な宗教的迫害の泥土より救い出したのであった。」とあります。P31の5行目の「南北戦争の直後ニューヨークの一新聞記者が、「行け若人よ西部へ」と書きなぐった数言によりニューイングランドを含む東部の各州に大動揺がきた。平時の言挙でこれほど世を震撼させたものはなかった。田園から工場から家庭から、牛馬車の行列は絶え間なく西部に向かって開始された。父母、兄弟、姉妹、伯父、伯母、従兄弟、すべて者がこれに加わり、あるかぎりの交通機関はこれがために利用された。低廉にして良好な土地とさらにそれ以上の富を求めて、勇敢な開拓者の群れは野を丘を山を越え、えんえんとして続いた。」ということです。南北戦争のあとに西部への大移動が起きたということです。32Pの4行目「このようにして数箇所由市町村の中からいずれかの一つが最大の都会、西部第一の首都

として立ち上がるべき運命をもつはずであった。それは果たしてどこなのだろうか。人々は自由に想像し幸運を待ち望んでいたのであった。他の諸都市もそれぞれ発展を続けて支持者の喝采にむくいたが、シカゴははるかにひいきの期待以上に発達し、遂には他の追随を許さぬ西部第一の巨大な首都となった。人種的、政治的、宗教的諸尖端が逢着し、相互に粉碎合流して表面的に統一を形成する人間社会の大渦であった。かかる雰囲気の中に、そしてまた次に語るような条件の下に、明星ロータリーはここに出現したのである。」ということで、シカゴにロータリーが創生されました。当時のシカゴはどういうところであったかといいますと、37Pの「シカゴより何の善きものか出さずべき」ということで、「南北戦争後の四半世紀中に、シカゴは開拓者の部落から将来有望の新都市へと一挙に発達した。1870年およびこれに続く数年間はダッドディアボーン（シカゴの仮称）の最も躍起を試みたときであった。～省略します～シカゴは20世紀の初期に入ってもなお開拓者部落特有の風俗人情を多分に持っていたので、そうした社会に第一につき物の極道ともいえるべき賭博は公然であった。酒場が盛んになり密会所がこれにつき、高架鉄道の下は醜類によりあたかも巢に群がる蜂のようであった。」と書かれています。P38の終わりのほうには、「ある人のいうように当時のサロンは貧しい人間の集会所であったが、同時にそれが多くの場合彼らの家庭でもあったのである。サロンに出掛けることは多くの人々にとって絶好の屋内遊戯であったと同時に、またある者にとっては規則的な勤務先のようなものであった。サロンの誘惑は交を求める人間のおさえがたい欲求のうちに存在していたのであった。一たびここにおもむけばたちまち肉親同士のような愛情はただよい、アルコールの昂奮が人と人との間の障壁を見事に打ち破る役目を果たしていた。うらむらくは相互の障壁ばかりでなく、各人の自尊心をも撲滅するのであった。堅固な人はそうした放免に抗してしばらくは自分を抑制し得るのであるが、所詮はアルコールの支配に征服されてしまうのが

通例であった。」ということで、私に似ております。「当時のシカゴは今日に見るようなよく整備した市街を約束するような面影は、商業区にすら全く見えなかった。下水は極度に不完全で街路にはその町筋の特質を代表する種々の悪臭が息をついて流れていた。」ということで、川の中はゴミだらけで油が浮いている。タバコに火をつけて捨てると燃え上がったというような劣悪な環境であったようです。41Pのはじめ「19世紀の終わりに近く第1回万国博覧会直後の不況期は、シカゴが零落した最悪の時代であった。」ということで、本当にこのときは最低の時代であったようです。「獄舎は扉のおさえきれぬまでに充満した。ただそこにつながれるために軽罪を犯すものすら多かったのである。いかにして出獄するかというより、いかにして入獄するかが問題であった。懲罰換金6ヶ月が大いに歓迎されたことである。」ということで、当時のシカゴというのはひどい経済状態であったようです。43Pの中ほどですが、なぜこのようなところにロータリーができたかということが書いてあります。「ロータリーのようなものは一そう朗らかな空の下に、一そうおだやかな気候の下に、そして精神的動揺のない都会に生まれ出ずべきものであると考えることは無理ではなかったかも知れない。しかし他面から見れば、市民生活における文化的正義のための聖戦が熾烈に戦われていたシカゴのような物情騒然とした都会こそ、ロータリーのような運動の発祥地として最適の地であったとも考え得るのではあるまいか」というようにポールハリスは書いています。44Pに「購買者自衛主義が消費者に適用され」とありますが、当時のシカゴは商業道徳がなく、騙されるほうが悪いということで、「「購買者自衛主義」の標語に「そして競争者を地獄におとせ」と付加してもよいのかも知れなかった。「公衆は地獄に落ちよ」という社会であったようです。47Pの堅忍不拔のシカゴ人というような人たちが出てきて、シカゴの町を良くしようとしていくわけです。50Pの「シカゴのいわゆるI Will精神とはそもそも何か。「第1回シカゴ万国博覧会」の建設者であ

り「シカゴ市美化計画の設計者である普及の名称ダニエル・バーナムは答える。「計画は小さいものであってはならない、小さい計画は人々の血を沸かすに足らない。また恐らく実現もしないだろう。計画はぜひとも偉大なものであるべきである。宏大な論理正しい設計図は一度描かれたら決して死滅しない。設計者の後に残ってさらに切実さがますますことを願って、ぜひとも希望と実行の高遠なものを期すべきである。われわれの子孫はさらに大いにわれわれを驚嘆せしめる何事かをなすものであることを忘れてはならない」ということで、おそらくポール・ハリスも、このダニエルの言葉にロータリーの成長をだぶらせていたのではないのでしょうか。

第4章、ロータリーの創生です。シカゴにロータリーが出来るわけですが、52Pの中ほどにロータリーでできた仲間について書いています。「相互に同気親愛の士であって、各人はそれぞれ明確に異なった職業を代表し、性質においてもはなはだ懸隔したものを持っていた。彼らは宗教・種族・政治的な異同を超越して選ばれたものであって、あるいはアメリカ人を祖先とし、あるいはドイツ人をスウェーデン人を、アイルランド人を祖先とした。また、新教徒あり、カトリック教徒、ユダヤ教徒あり、要するにすべてがアメリカという熔高炉の所産であって、この意味において集団はそれが将来運命的に世に実現せんとする世界的秩序のためにまことにふさわしい祖先だったのである。」ロータリーが出来た当時の仲間についての話です。「まず集団の一員シルベスターは石炭商で我々の第1次会長であった。ドイツ人を両親とし天性的に親切で、友に会うや満面歓喜に輝くという風であった。彼は社会事業および教会事業中心のなり、慈善事業には欠くことのできない人物となっている」54Pに「シルベスターが残した道義人として隣人としてまた友人としての社会上並びに職業上の功績は朽ちることのないものであろう。言い換えればそれはロータリーの主義を実践上に示した輝ける適例である。ロータリー創立の頃彼は会員の職業研究とその銜衡方を提案した。



これはロータリーに現在する「職業奉仕」の始まりである。もしこのように断定することが出来な  
いまでも、少なくとも後年発達した同委員会とそ  
の方向を一にしたものであったことは確実であ  
る。」

次にガスターバスであります「彼もドイツ人  
お両親から生まれた創立者の一人である。ガスタ  
ーバスの個性は人目を引くものがあつた。すなわ  
ちまれに見る総合的性格のひとつで、その美点は直  
ちにその欠点を補ってあまりあるものであつた。  
一面激越で命令的で威圧的な所があるとともに他  
面では温和で柔順で親しみやすいところがあり、  
滑脱端尻すべからざる人物であつた。性急の質で  
その言葉は機関銃のように速く鋭く、路上の行人  
も耳をそばだてるほど特異のものがあつた。教育  
の造詣はあまり深くなかつたが用語は正しいクラ  
シカルなものであつて、実際その猛烈な思想言表  
に供する豊富な語彙をどこから習得してきたか  
は一つの謎であつた。惜しむべしガスの会員生活  
は極めて短かつた。彼の事業に損害を招いた熱病  
的な景気の波瀾はまず彼をして会員を辞退せしめ、  
次いでその数年後死が彼を永遠に奪い去ってしま  
つたのである。」ロータリー入会后まもなくこの  
方は亡くなつています。

今一人のハイラムは、「メイン州から移住して  
来た洋反物商でまことに敬愛すべき人物であつた。  
彼は何としても大都市の生活には完全に満足する  
ことができず、ここは終始生まれ故郷から離れる  
ことが出来なかつたから、暑中休暇にはほとんど  
欠かさず帰省した。恐らく晩年はその厳寒の地  
メイン州に送ることであろう。ハイラムはやむ終  
えない事情によって長く会員としてとどまること  
を得なかつたが、その退会后もこの運動に興味を  
つないでいることをしばしば如実にしめし、創立  
当時の記憶を今もなお抱擁して楽しんでい  
うことである。」このハイラムという人は例会に  
何回か出席しましたが、私生活でもロータリーの  
精神を受け継ぎ、奉仕の精神を発揮していたそう  
です。

また、この4人のほかに第5番目の会員印刷業者  
のハリーという人物がいます。この人が初めてロ  
ータリーの例会に歌を持ち込みました。「ロータ  
リーの著名な唱歌指導者の一人は、クラブの合唱  
の理由として次の4点を挙げている。第一友愛の  
宣揚となること、第二気分放出となること、第  
三音楽への関心をうながすこと、第四歌の選択が  
会合の目的に合すればよく会員の話題を用意させ  
ることができるものであると。」地方から出てき  
た彼らは時折抑え難い寂寞間に襲われた。地方か  
ら出てきた彼らは厳しいシカゴの生活でロータリ  
ーの中に友情をみだし、心の安らぎを持った。  
「ロータリーが個人を向上せしめる方法の一つは、  
彼の内に童心を保存せしめることである」という  
言葉があります。

「彼らは自己のみの天地に満足していたのでは  
ない。世間をただその動くに任せて、自己のみの  
満足を微笑み交わしていたのではない。かれらは  
その信ずるところに従つて工夫を凝らし、そうし  
てこれをあらゆる基礎の中で最も根本的な友愛親  
善の上に築いたのである」

今回は第5章の復興から入りたいと思います。

<b>出 席 報 告</b>	<b>出口幸太郎委員長</b>
----------------	-----------------

第2130回 (10月28日)

会 員 総 数	29 名
(内出席免除)	1 名
出 席 数	25 名
(内事前 MU)	1 名
欠 席 数	3 名
出 席 率	<b>89.29%</b>

回事前メイクアップ

米澤哲也会員 (桜並木の草刈り)

回欠席者

河野千佐子会員、山上明宣会員、和田久継会員